


## 横浜ローズウィーク2021

取組開始時期	2021年5月12日	取組の カテゴリ	⑬ 観光客の誘致・地域PR	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
--------	------------	-------------	---------------	-----------------	--	-----------	---	------

1. 団体名	リアルワールドゲームズ株式会社	2. 連携先の 団体	◎神奈川県横浜市
--------	-----------------	---------------	----------

3. 取組目的	コロナ禍でオフラインのイベントが実施しにくいという課題を歩くDXで解決したい	4. 関連する ゴール	
---------	--	----------------	---

## 5. 取組経緯

地方創生SDGs官民連携プラットフォームのメンバーである横浜市が抱えているオフラインのイベントが実施しにくいという課題を知り、弊社のウォーキングアプリを解決策として提案し、業務提携を締結した。

## 6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

横浜市内各所のバラ園や周辺地域などを歩き、スポットにチェックインすることで、ガーデンペアのコレクションを集め、限定グッズなどを当てるイベントである。インスタグラムでのフォトコンテストも実施した。

画像（会員投票の際のサムネイル）



## 取組のポイント（3つの視点）

## 地方創生SDGsの視点

- ・市民がウォーキングゲームを楽しみながら歩いて健康になる。
- ・街歩きを通じて、まちの新しい魅力を発見し、QOLが上がる。
- ・インスタグラムを使ってまちの魅力を広く発信したため、観光客の誘致と地域PRの効果もある。
- ・DXを通じてコストの削減を実現し、エコな活動である。

## ステークホルダーとの連携

横浜市と共に宣伝を行った結果、より多くの市民にウォーキングゲームとフォトコンテストを知って頂き、参加して頂いた。

## モデル性・波及性

- ・横浜市では、一年にわたってフォトコンテストが複数回開催される。イベントのDX化を通じて、定期開催のイベントの準備時間と運営費用の削減を実現した。
- ・スタンプラリー参加者のうち、約50%のユーザーが景品交換を行い、非常にアクティブである。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

成果①：シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件



～ シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件 ～  
 バンダイナムコのファンが「日常を冒険に」「街の再発見」への参加で  
 日本全国の地域資源の発掘が更に充実！

※横浜市でも、市民の方に沢山のスポットデータを集めて頂いています。

confidential

成果②：歩いてコレクションを集めて景品に交換できる仕組み



今後の方向性：歩くDXをより広い範囲で運用

例①：連携先を増やしてより多様なイベントを実施する



開催期間 2021.10/23(土)～2021.11/7(日)  
 フクヤマニメフォトコンテスト実行委員会

例②：横浜市民に「健康・防災・観光」を一体的に提供

サービス内容 ～「健康・防災・観光」一体提供～

・3D地図基盤を活用してヒト・モノ・コトを可視化して繋ぐ



3D地図エンジン  
 「TERRA」

- 健康**
  - ・楽しく歩くをサポート歩くモチベーションを上げる
- 防災**
  - ・歩くことで人々の脳内マップを充実させ迅速な避難を実現
  - ・災害時は避難アプリ迅速な情報共有
- 観光**
  - ・観光資源をデジタル化し新たな楽しい体験を創出
  - ・非対面・非接触イベントの運営をサポート



confidential